

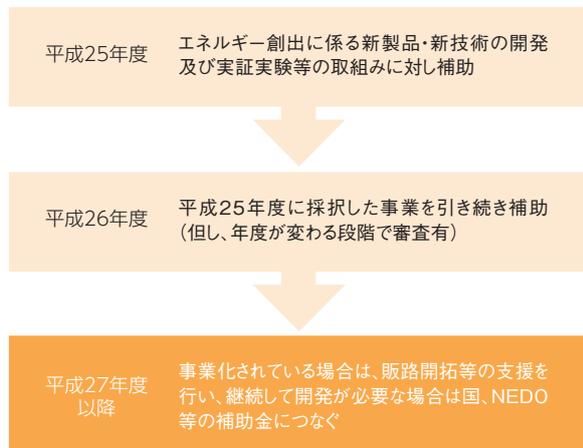
札幌型新エネルギー産業開発支援事業

1 事業の目的・概要

再生可能エネルギーへの注目が高まっている中、市内企業が再生可能エネルギー関連産業に参画し、札幌市の新たな基幹産業とするための育成を図ることが、市内エネルギー供給を支え、市民生活を維持するために重要です。

そのため、市内企業等が実施するエネルギー創出関連技術に関する新技術・新製品開発等の取組みに対し、平成25年度より最長2年間の補助金による支援を実施しています。

2 事業イメージ



Q 1 本補助事業はいつ頃から、どのようなことを背景として、何を目的に始められたのでしょうか。

Q 2 本補助事業における成果について教えてください。

Q 3 今後の事業展開について教えてください。

札幌型両面発電太陽電池を活用したコスト吸収型融雪システム開発事業／株式会社KITABA

Q 1 事業の目的・背景

札幌市を中心とする北海道は、融雪や暖房等により、冬季におけるピークの電力需要が夏季比約15%、使用電力量が同約25%多い状況にあります。従来の太陽電池は積雪により冬場に多くの発電を望めない状況が一般的に散見されるため、この問題解決を行うことが本事業を行うに至った背景です。本事業は、太陽電池の両面発電による余剰電力を活用することにより、追加コストがシステム全体で吸収可能な融雪システムを開発し、積雪寒冷地の再生可能エネルギーの利用を促進することを目的としています。

Q 2 事業の成果

本事業を進めるにあたり、限られた期間で各々の参加企業の独自の技術を効率的に組み合わせることで製品を作り上げていくことが課題でした。異業種間の企業同士の連携において、「寒地環境エネルギーシステム研究所」(積雪寒冷地における、よりよい環境づくりと持続可能なエネルギーシステム構築に資する技術の開発に寄与することを目的に設立)を有する北海道科学大学による協働の場の提供により、コンソーシアムの結末が固まり方向性を見失うことなく進めていくことができたことは、産官学連携の賜物であると考えています。

Q 3 今後の事業展開

事業スキームとして、次の2点を計画しております。①融雪システムを組み込んだ両面発電太陽電池システムとして、新設設備向けに販売、②両面発電太陽電池と融雪システムを組み合わせ、自立型融雪システムとしての販売。2年間の実証事業で、商品化に向けたシステムの方向性が明確になったことから、次年度はシステムの早期市場投入を課題としています。



滑雪性能実証施設



地表融雪性能実証施設

〈会社情報〉

(株)KITABA

所在地／札幌市北区北13条西3丁目2-1北13条ビル2F

TEL／011-299-8805・FAX／011-299-8990

代表者／代表取締役 酒本 宏

創立／平成20年12月25日 URL／<http://www.kitaba.co.jp>

〈コンソーシアム企業一覧〉

クラレリビング(株) 大阪市北区角田町8番1号梅田阪急ビル
オフィスタワー39F

伊藤組土建(株) 札幌市中央区北4条西4丁目1番地

PVG Solutions(株) 横浜市港北区新横浜3-6-12 日総第12ビル9F

北海道科学大学 札幌市手稲区前田7条15丁目4番1